

当初・変更

工事執行機関 41065 建築住宅課

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

| | | | | | |
|---------|--|--------|----------------------|-------------|-----------|
| 年災 | | 事項 | | 契約 | 令和5年3月20日 |
| 工事番号 | 22-41065-0012 | 工事名 | 災害公営住宅等整備工事(建築2・双葉4) | 着工 | 令和5年3月20日 |
| 入札執行年月日 | 令和5年3月2日 | 発注種別 | 03 建築工事 | 完成 | 令和6年2月2日 |
| 審議番号 | 公所 | 000000 | 本庁 | | |
| 路線・河川名 | 双葉駅西団地 | | 予定価格 | 494,560,000 | |
| 工事箇所 | 自 至 双葉郡双葉町大字長塚字町西 地内 | | 最低制限価格 | - | |
| | | | 調査基準価格 | 444,995,540 | |
| 工事概要 | 災害公営住宅等新築に係る建築及び外構工事一式 長屋2棟7戸 木造2階建て A=552.83㎡ | | | | |

| 業者コード 業者名 | 落札者の住所 | | 落札額(契約額) |
|-------------------------------------|------------------------|------------|-------------|
| | 入札額及び再入札額 | | |
| 100002584 田中・福浜大一特定建設工事共 同企業体 | (1) 449,000,000 (3) | (2) (4) | 無効 |
| 100002586 横山建設(株) | 双葉郡浪江町大字幾世橋字辻前12-2 | | |
| | (1) 437,000,000 (3) | (2) (4) | 480,700,000 |
| | (1) (3) | (2) (4) | |
| | (1) (3) | (2) (4) | |
| | (1) (3) | (2) (4) | |
| | (1) (3) | (2) (4) | |
| | (1) (3) | (2) (4) | |
| | (1) (3) | (2) (4) | |
| | (1) (3) | (2) (4) | |

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

入札公告

条件付一般競争入札を行うので、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。)第167条の6第1項及び福島県財務規則(昭和39年福島県規則第17号)第246条第1項の規定により公告する。

令和5年1月13日

福島県出納局長 金子 市夫

1 入札に付する事項

| 区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 再度公告 <input type="checkbox"/> 改めて公告 (設計、条件等の見直しあり) | |
|---------------|--|--|
| | 前回公告 なし | |
| 工事番号 | 22-41065-0012 | |
| 工事名 | 災害公営住宅等整備工事(建築2・双葉4) | |
| 工事箇所 | 双葉郡双葉町大字長塚字町西 地内(双葉駅西団地) | |
| 工事概要 | 災害公営住宅等新築に係る建築及び外構工事一式 長屋2棟7戸 木造2階建て A=552.83㎡ | |
| 完成期限 | 工期320日間 | |
| 予定価格 | 契約締結後に公表する。 | |
| 項目 | 該当の有無 | 該当する場合の内容説明 |
| 起工時期 | 該当 | ・該当の場合、令和4年4月1日以降に起工した工事である。 ・該当なしの場合、令和4年3月31日までに起工した工事である。 |
| 最低制限価格 | 該当なし | ・施行令第167条の10第2項に基づき最低制限価格を設定する工事。契約締結後に公表する。 |
| 総合評価方式 | 簡易型 | ・価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事である。 ・落札候補者の決定方法及び総合評価の方法については、入札説明書による。なお、当該入札では評価基準価格を設定する。 |
| 低入札価格調査 | 該当 | ・施行令第167条の10の2第2項の規定に基づく低入札価格調査制度適用工事。調査基準価格は、契約締結後に公表する。 ・調査基準価格を下回った入札を行った場合は、評価値が最も高い者であっても必ずしも落札者とはならない場合がある。また、低入札価格調査に協力すること。 |
| 施工体制事前提出方式 | 該当なし | ・福島県施工体制事前提出方式の適用工事 ・施工体制事前提出方式における失格基準、調査内容及び様式等については、入札説明書による。 |
| 電子入札 | 該当 | ・電子入札の参加には、下記アドレスより事前登録が必要 ・電子入札システム(アドレス) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-98.html |
| 電子閲覧 | 該当 | 電子閲覧システム(アドレス) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-96.html |
| 現場代理人の常駐義務の緩和 | 該当 | 落札者の申請に基づき発注者が認める場合、先行工事の現場代理人をこの工事の現場代理人とすることができる。この場合、発注者は必要な条件を付すことができる。 |
| 特例監理技術者の配置 | 該当なし | 建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という。)の配置を行うことができる工事である。特例監理技術者の配置を行う場合の要件は、入札説明書による。 |
| 再資源化等 | 該当 | 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。 |

| | | | |
|----------|------------|------|--|
| 混合 入札 | 復興JV 以外 | 該当なし | 単体企業又は特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札 |
| | 復興JV | 該当 | 単体企業又は福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱附則第3項で規定する別に定めるものについて(平成23年12月28日付け23財第1971号通知(令和2年1月6日一部改正))における特定建設工事共同企業体の参加を認める混合入札である。 |

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

入札に参加する者は、次に掲げる条件及び入札説明書に掲げる条件をすべて満たしている者であること。

(1) 単体企業の場合

| | | |
|-----------|-------|---|
| 発注種別 | 建築工事 | 開札日が属する年度において有効な福島県工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。 |
| 格付等級 | A | |
| 許可業種 | 建築工事業 | 建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。 |
| 地域要件 | 県内 | 県内とは、福島県内に本店を有する者であること。 |
| 技術者の工事経験 | 必要なし | <ul style="list-style-type: none"> ・左の欄に表示した工事経験(配置技術者としての経験)がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できる者であること。(ただし、請負金額が4,000万円未満(建築一式工事の場合は8,000万円未満)になる場合は、専任を要しない。) ・工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請(JVの場合は、出資割合が20%以上の構成員である場合に限る。なお、分担施工方式による場合は、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る(発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。)。ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(実績当時のもの)で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。)の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業法第26条第1項で規定する主任技術者又は同条第2項で規定する監理技術者としての経験をいう。 ・監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 |
| 企業の工事实績 | 必要なし | 元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績があること。 |
| 企業の工事規模実績 | 必要なし | 元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績(JVの場合は、出資割合に相当する額とする。)があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。 |
| JR近接工事 | 該当なし | <p>該当する場合は、東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。</p> <p>なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者(在来線)資格認定証」を有する者をいう。</p> |

(2) 特定建設工事共同企業体の場合

| | |
|------------|---|
| 構成員の数 | 2者又は3者であること。 |
| 構成員の組み合わせ | <ul style="list-style-type: none"> ・構成員全員が、構成員共通の資格要件を満たしていること。 ・代表構成員の資格要件を満たす者1者及びその他の構成員の資格要件を満たす者1者又は2者の組み合わせであること。 |
| 結成方法 | 自主結成であること。 |
| 各構成員の出資割合 | <ul style="list-style-type: none"> ・2者の場合は、各者30%以上であること。 ・3者の場合は、各者20%以上であること。 |
| 構成員共通の資格要件 | 技術者の工事経験 |
| | 必要なし |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・左の欄に表示した工事経験(配置技術者としての経験)がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できること。(ただし、請負金額が4,000万円未満(建築一式工事の場合は8,000万円未満)になる場合は、専任を要しない。) ・工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請(JVの場合は、出資割合が20%以上の構成員である場合に限る。なお、分担施工方式による場合は、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る(発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。)。ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(実績当時のもの)で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。)の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業法第26条第1項で規定する主任技術者又は同条第2項で規定する監理技術者としての経験をいう。 ・監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 |

| | | | |
|--------------|-----------|--|--|
| 代表構成員の資格要件 | 発注種別 | 建築工事 | 開札日が属する年度において有効な福島県工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。 建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。 県内とは、福島県内に本店を有する者であること。 元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事実績があること。 元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績(JVの場合は、出資割合に相当する額とする。)があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。 該当する場合は、東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者(在来線)資格認定証」を有する者をいう。 |
| | 格付等級 | A | |
| | 許可業種 | 建築工事業 | |
| | 地域要件 | 県内 | |
| | 企業の工事实績 | 必要なし | |
| | 企業の工事規模実績 | 必要なし | |
| | JR近接工事 | 該当なし | |
| 出資割合 | | 構成員のうち最大であること。出資割合が同じ場合においては、施工能力の大きい者であること。 | |
| その他の構成員の資格要件 | 発注種別 | 建築工事 | 開札日が属する年度において有効な福島県工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されていること。 建設業法(昭和24年法律第100号)の左の欄に表示した業種の許可を受けていること。 開札日が属する年度において有効な福島県工事等請負有資格業者名簿に登録されている者であること。 元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事実績があること。 元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績(JVの場合は、出資割合に相当する額とする。)があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。 該当する場合は、東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者(在来線)資格認定証」を有する者をいう。 |
| | 格付等級 | A又はB | |
| | 許可業種 | 建築工事業 | |
| | 地域要件 | 全国 | |
| | 企業の工事实績 | 必要なし | |
| | 企業の工事規模実績 | 必要なし | |
| | JR近接工事 | 該当なし | |

3 入札参加手続等

本件入札においては、開札後に入札参加資格の審査を行うため、事前の入札参加申請手続等は要しない。(電子入札対象工事にあつては、電子入札システムにより開札を行うため、入札参加者は当該システムにて、必ず、入札参加の受付をする必要がある。)

設計図書等の質問受付方法、入札書等の提出、落札候補者の公表及び入札結果の公表については、入札説明書による。

設計図書等の閲覧、入札執行などの期間や場所は次に示すとおりとする。

| 項目 | 期間又は期日 | 場 所 等 |
|-----------|--|---|
| 設計図書等の閲覧等 | 令和5年1月13日(金)～ 令和5年3月1日(水) | 電子閲覧システム |
| 設計図書等の質問 | 令和5年1月13日(金)～ 令和5年1月19日(木) | 福島市杉妻町2番16号(本庁舎4階) 土木部土木総務課 電話番号 024-521-7455 ファクシミリ 024-521-7954 電子メール dobokusoumu2@pref.fukushima.lg.jp |
| 質問の回答予定 | 令和5年1月25日(水) | 福島県出納局ホームページ 入札書等の提出前に、必ず本ホームページにて、質問回答の有無を確認すること。 |
| 入札参加受付 | 令和5年2月2日(木)～ 令和5年2月3日(金) | ・電子入札の場合に限る。 ・電子入札システムへの入力による。 |
| 入札書等の提出 | 令和5年2月28日(火)～ 午前9時00分～ 午後5時00分 令和5年3月1日(水) 午前9時00分～ 午後3時00分 | 電子入札システムへの入力による。 ※令和4年4月1日以降に入札公告する案件より、入札書等提出期間は2日間とする。 ただし、最終日の受付時間は午後3時までとする。 |
| 開札 | 令和5年3月2日(木) 午前9時30分 | 開札は公開とする。 福島市中町8番2号 福島県自治会館8階 802会議室 |
| 落札者の決定予定日 | 令和5年3月10日(金) | |

※ 電子閲覧システムの利用時間は、午前8時から午後10時まで(福島県の休日を含める(平成元年福島県条例第7号)第1条第1項に規定する県の休日を除く。以下同じ。)です。

※ 電子入札システムの利用時間は、午前9時から午後5時までです。

4 入札参加資格要件の審査に関する事項

落札候補者が決定した場合は、開札後速やかに当該落札候補者に電話等確実な方法により通知する。

なお、落札候補者の入札参加資格要件の審査、落札者の決定及び入札参加不適格の通知については、入札説明書による。

5 入札保証金及び契約保証金

入札保証金及び契約保証金については、入札説明書による。

6 入札の無効

2の入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び福島県工事等競争入札心得等において示す入札に関する条件等に違反した入札は、無効とする。

7 関連工事の落札者がなかった場合の取り扱い

この工事は令和5年1月13日公告の「工事番号22-41065-0011 災害公営住宅等整備工事（建築1・双葉4）」、「工事番号22-41065-0013 災害公営住宅等整備工事（建築3・双葉4）」、「工事番号22-41065-0014 災害公営住宅等整備工事（電気・双葉4）」、「工事番号22-41065-0015 災害公営住宅等整備工事（機械・双葉4）」と密接に関連する工事であるため、関連工事のいずれかに落札者がいない場合には、関連するすべての工事の落札者が決定する日までこの工事の契約の締結を留保し、関連するすべての工事の落札者決定後に契約を締結する。

(1) 留保期間

落札者がなかった関連工事の落札者決定の日までとする。（概ね2ヶ月程度）

(2) 契約の辞退について

- ・本工事の落札候補者は、関連工事の落札決定の日まで契約を留保されることによって施工できないと判断する場合には、本工事の落札決定の日までの間に落札候補者を辞退することができる。
- ・関連工事の再度の入札等でも落札者が決まらない場合には、本工事の落札者は契約の締結を辞退することができる。
- ・落札候補者又は落札者が契約の締結を辞退した場合においては、入札参加資格制限の対象とはしない。

(3) 留保期間を経て契約する場合の契約内容

- ・契約を締結する場合、工期の延長など契約の条件を変更することがある。
- ・福島県工事請負契約約款第26条第1項及び第4項に規定する「請負契約締結の日」を「落札決定の日」と読み替えて契約を締結する。

(4) 留保期間後の契約締結における配置技術者の変更

- ・配置技術者の資格・工事経験の要件を付した場合、事後審査にて提出した配置技術者の変更も可能である。ただし、同等の要件を満たす者とする。
- ・「配置技術者の技術力」として申請のあった技術者の変更も認める。ただし、申請のあった技術者が獲得した点数以上の者とする。

8 その他

- (1) 本工事は、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用（以下「実績変更対象間接費」という。）について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、建築関係工事積算基準（福島県土木部）に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

営繕費（共通仮設費における仮設建物費）：労働者送迎費・宿泊費・借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用・賃金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

- (2) 本工事は、「入札時積算数量書活用方式」の対象工事である。

本方式では、入札時において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加する場合において、工事請負契約の締結後に生じた当該積算数量の疑義について、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うことができる。

- (3) この工事は、「東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について」（技術管理課 HP: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/torikumi.html> 参照）を適用し積算している工事である。

(4) 本工事は、「建築関係工事における週休2日促進工事試行要領」
 (技術管理課HP: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/>参照)を適用する工事である。
 受注者は試行要領に定める事項について遵守しなければならない。
 本工事の発注方式は特記仕様書に記載しているので確認すること。

(5) その他詳細は、入札説明書による。また、不明な点は次に示すところに照会すること。

問い合わせ先 福島県出納局入札用度課
 電話番号 024-521-7563
 ファクシミリ 024-521-7962
 電子メール nyuusatsu_youdo@pref.fukushima.lg.jp

〔注 意〕 提出する書類一覧表

| 提出書類 | 電子入札対象工事の場合 | |
|---|-------------------|---------|
| | 入札参加受付時 | 入札書等提出時 |
| 技術提案書 | (注1)(注2)(注3) ○ | |
| 特定建設工事共同企業体協 定書(福島県建設工事に係る 共同企業体取扱要綱様式第 2号に準じる)の写し | ○(注4) | |
| 入札書 | | システムに入力 |
| 見積内訳書 | | ○(注2) |
| 見積内訳総括表 (低入札価格調査事務処理要 領様式第6号) | | ○(注2) |

※ 電子入札における留意点

(注1) 入札参加受付時に、システムの仕様上、添付資料の提出が必須となりますので、総合評
 価方式の適用工事でない場合(技術提案書の提出がない場合)は任意のファイル(内容は問
 いません。)を資料として添付してください。

(注2) 添付するファイル(任意のファイルを添付する場合を除く。)を間違えた場合、入札を無
 効とすることがありますので注意してください。

(注3) 総合評価方式の適用工事であって、標準型以外の場合は、入札参加受付時に技術提案書
 を提出済みでも、システムには提出ボタンが表示されます。これは、システムの仕様によ
 り一律表示されるものであり、実際の提出状況は反映していません。

(注4) 特定建設工事共同企業体を結成して入札に参加する場合に提出してください。

令和4年度 第2回福島県総合評価委員会議名簿

開催日： 令和4年5月20日

決定日： 令和4年6月1日

| No. | 氏 名 | 所 属 等 | 職 名 | 委嘱期間 | 班 |
|-----|---------------------|---------------------------|---------|-----------------|----|
| 1 | あくだがわ かづのり 芥川 一則 | 福島工業高等専門学校ビジネスコミュニケーション学科 | 教授 | R4.4.15~R6.4.14 | 1班 |
| 5 | わたなべ ひでひこ 渡邊 英彦 | 日本大学工学部土木工学科 | 教授 | R4.4.15~R6.4.14 | 1班 |
| 6 | いづみ ひろみ 板垣 浩美 | 国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所 | 技術副所長 | R4.4.15~R6.4.14 | 1班 |
| 7 | いとう ひでかず 伊藤 英和 | 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 | 技術副所長 | R4.4.15~R6.4.14 | 1班 |
| 12 | そではやし じゅん 袖林 淳 | 国土交通省東北地方整備局郡山国道事務所 | 技術副所長 | R4.4.15~R6.4.14 | 1班 |
| 14 | のなか ひさる 野中 渉 | 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所 | 工事品質管理官 | R4.4.15~R6.4.14 | 1班 |